

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		心身障害者日中一時支援				所管	福祉部 障害福祉課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]							
		[小 柱]							
		[施 策]							
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	障害者総合支援法、台東区障害者地域生活支援事業実施要綱				
	事業対象	身体障害者手帳、愛の手帳、精神保健福祉手帳の所持者							
	事業目的	主として家族の病気等で介護をする者がいない障害者(児)に対して、日中において一時的な見守りサービスなどを提供し、障害者(児)の地域での生活を支援することを目的とする。							
	事業内容	申請にもとづき、日中に一時的な見守りサービスを必要とする障害者(児)に支援サービスの支給決定を行い、受給者証を交付する。支給決定者に対し日中一時支援のサービスを提供した事業所に給付費の支払いを行う。 一般型…日中介護する者がいない方を対象とし活動の場の提供、見守り等を行う 放課後支援型…両親の就労等で介護できない高校生を対象に、放課後等に活動の場の提供、見守り等を行う。 医療的ケア支援型…日中介護する者がいない医療的ケアが必要な高校生以上を対象とし、見守り等を行う。 ◇生活保護及び区民税非課税世帯 ⇒ 全額無料 ◇区民税課税世帯 ⇒ 原則費用の10%(軽減措置あり)							
	委託の有無	なし		委託内容					
補助金の有無	国・都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	利用者数	人	25	21	30	26		
		延利用日数	日	750	131	586	1,032		
	成果指標	一人あたり利用日数	日	30	6	20	40		
	決算額 (単位：千円)				380	4,896	9,449		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			90	417	852		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			0	0	0		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			380	4,897	9,450		
		総経費			470	5,314	10,302		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			195	2,319	4,612		
一般財源 (区負担額)			275	2,995	5,690				
前年度から改善した事項		平成24年度は「放課後支援型」「医療的ケア型」が開始したばかりのため、当初見込んだ利用実績に至らなかったが、25年度は利用が定着し、継続的な利用へと繋がった。							
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	障害者(児)とその家族にとって、地域で生活していくうえで、日中の一時的な預かり機能をもつ日中一時支援の必要性は高い。						
	効率性	4	平成25年度末に障害福祉システムにおいて、従来の独立型から基幹システムとの連携を行った。住民記録情報、税情報など支給決定する上で必要な情報が連携されたことによって事務の効率性が向上した。						
	手段の適切性	3	協定を結んだ事業所に給付費を直接支払える代理受領方式を取り入れていることで、利用者は一部負担を事業所に支払うことでサービスの利用ができており、利用者の負担軽減が図られている。						
	目的達成度	4	高校生の障害児の利用できる施設が少ない中、平成24年度より導入した「放課後支援型」の利用が定着し、実績も増加している。目標値よりも大幅に上回り事業の目標は達成されている。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性		
医療的なケアが必要な障害者(児)の預かりの場は、非常に限られていることから今後も継続していく必要がある。また、放課後支援型の対象が高校生であることから、類似制度の児童福祉法による放課後等デイサービスとの利用の調整を図り、今後の対象者の人数・状況なども勘案しながら、事業を展開していく必要がある。							維持		
							拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		